

豊川地区商店街(豊川市)

【表参道発展会、豊川商店街振興組合、豊川門前通商店街振興組合、西本町商店街振興組合、協同組合豊川栄通発展会、幸町発展会、稲美会】

キャッチフレーズ

とよかわ イナリズム ~住んでいいじゃん!訪れていいじゃん!~

活性化モデル商店街としてのモデル性

自発的な街づくり活動の推進で、他県からの観光客など幅広い集客を目指す観光型商店街

商店街の将来ビジョン

豊川地区は、豊川稲荷の門前商店街であるが、近年観光客数が減少していることから、「できることから始めるまちづくり」を合言葉に地元商店主を中心とした地道なまちづくり活動が始まり、転機を迎えた。表参道発展会を中心にまちづくりイベント「いなり楽市」を開催したり、まちづくり会社を設立して、まちづくり拠点「いっぷく亭」を開店するなど、活性化に対する意欲が強い地区である。

自発的なまちづくり活動を推進し、門前商店街らしい景観整備を行うとともに、大学や福祉団体等との連携を強めることで、幅広い層の人々が集い、一大観光地として往年の賑わいの“復興”を目指す。

具体的に取組む事業内容

ファサード整備事業 (20年度~22年度)

既に改装等を行っており、良好な外観を持つ店舗を除き、門前商店街の地区計画区域内の店舗を対象に、商店街のおおむね過半数を良好な景観とするべく豊橋の大学の建築系研究室と連携して行う。

ポケットパーク整備 (20年度~21年度)

いなり楽市等のイベント時も使用でき、市民の憩いの場としても活用できるポケットパークを整備する。

テナントミックス事業 (20年度~22年度)

まちづくり拠点「いっぷく亭」を活用し、東三河の福祉団体等の多様な団体との連携によって、各種商品を販売するとともにオリジナル商品を開発する。

人にやさしい街づくり整備事業 (20年度~22年度)

人にやさしく、歩いて楽しいまちづくりを目指すために、歩道を中心に整備する。